

# 防災推進国民会議の 今後の活動方針（案）

---

令和4年12月14日  
防災推進国民会議決定



## 1. 全体会議

議員が属する団体・機関の防災に関する取組に関する情報共有や政府との共催事業の成果報告、意見交換を行うため、毎年少なくとも1回、全体会議を開催する。

## 2. 国民の防災意識向上等

国民の防災意識の醸成・向上を図るための事業を行うとともに、一般国民向けの防災に関する普及啓発資料を作成・活用する。

特に、来年は関東大震災から100年に当たることを踏まえ、地震や津波に備えた防災意識向上のための啓発活動を強化する。

- 2023年9月17日、18日に神奈川県横浜市（横浜国立大学）において「防災推進国民大会2023」を開催
- 11月5日の「津波防災の日」「世界津波の日」を中心として津波防災の普及啓発活動を実施



## 3. 政府の事業等への協力

政府その他の防災関係機関が実施する、国民の防災意識の醸成・向上を図るための事業、活動等について、事業等の共催、周知（告知）、参加など、可能な範囲で積極的に協力する。

例)

「防災週間」、「津波防災の日」、「ボランティア週間」、「地区防災計画セミナー」等

## 4. 「TEAM防災ジャパン」ポータルサイトを通じた情報発信

「TEAM防災ジャパン」のポータルサイトを通じて、議員が属する団体・組織の防災に関する取組を積極的に発信する。

## 5. 関東大震災100年の関連行事等に係る情報共有

議員が属する団体・組織が主催する行事等において、関東大震災100年を意識した啓発活動に取り組むとともに、行事等の情報を共有する。



共通ロゴマーク  
(防災学術連携体提供)



- 防災推進国民大会（通称「ぼうさいこくたい」）は、産学官、NPO・市民団体や国民が日頃から行っている防災活動を、全国的な規模で発表し、交流する日本最大級の防災イベント。  
（主催：内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）
- 8回目の開催となる2023年は、神奈川県横浜市で開催することを決定。

## 開催場所

**横浜国立大学**  
（神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1）

## 開催時期

**2023年（令和5年）9月17日（日）・18日（月・祝）**



横浜国立大学

## 神奈川県で開催する意義



## **2023年は関東大震災発生から100年に当たる節目の年**

- 神奈川県は関東大震災の震源地であり、節目の年の首都圏開催は、防災の重要性について国内外への発信力強化となる
- 関東大震災100年に関連する官民のさまざまな行事等とも連携を図りながら、首都圏住民に対しても広く防災意識の啓発を図る
- 近年頻発する豪雨災害だけでなく、地震への備えも重要であることを、全国の国民が改めて考える機会とする